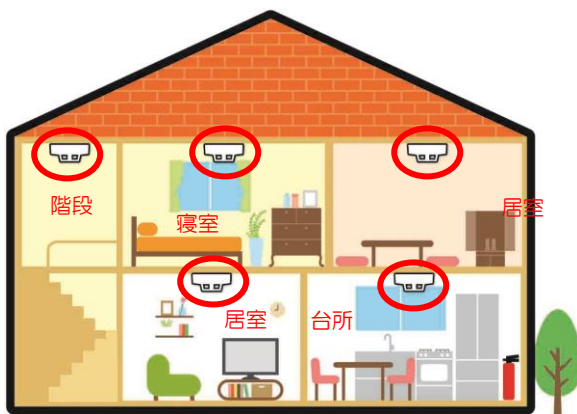


住宅用火災警報器の設置と維持管理

住宅用火災警報器が平成22年4月に、全ての住宅に設置が義務付けられてから10年が経過しています。住宅用火災警報器の耐用年数はおおむね10年とされていることから、いざという時に鳴らない住宅用火災警報器が多く存在することが予想されます。

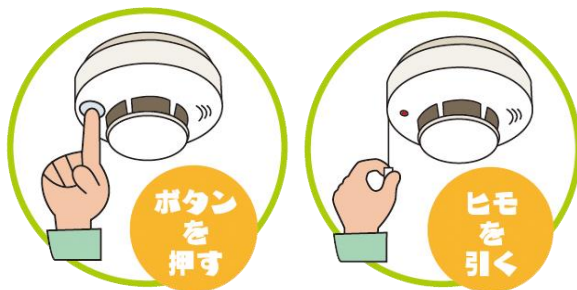
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い自宅にいる時間が増えており、住宅からの火災の発生が増加が危惧されています。この機会に、自宅に設置されている住宅用火災警報器の設置状況や動作状況を確認してみましょう。

◀ 設置すべき場所 ▶



すべての
居室・階段・台所に
必ず設置しましょう

◀ 点検の仕方 ▶



作動確認は本体にある
ボタンを押すか
ひもを引くことで
行うことができます

※ 音が鳴らない場合は、電池切れか、機器の故障が考えられます。詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。

なお、住宅用火災警報器の維持管理については、下の動画もご参照ください。

[動画【ティモンディ】住宅火災への備え やればできる！【住宅用火災警報器編】へのリンク](#)（クリックするとYouTubeの東京消防庁公式チャンネルに飛びます。）

住宅用火災警報器は、火災を早期に発見し、
速やかな通報や消火、避難が可能になり、
被害を防止、軽減することにつながります！

